



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 明治ホールディングス株式会社
コード番号 2269 URL <http://www.meiji.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 浅野 茂太郎

問合せ先責任者 (役職名) IR広報部長

(氏名) 梅本 隆司

TEL 03-3273-3917

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	274,656	0.1	9,389	46.2	11,154	60.8	6,532	242.6
25年3月期第1四半期	274,409	4.9	6,423	9.1	6,937	12.6	1,906	△3.4

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 9,758百万円 (195.0%) 25年3月期第1四半期 3,308百万円 (10.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	88.68	—
25年3月期第1四半期	25.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	794,157	328,386	40.4	4,350.94
25年3月期	785,514	320,609	39.9	4,254.56

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 320,471百万円 25年3月期 313,383百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	565,000	0.7	12,000	19.4	13,000	10.2	6,500	23.4	88.25
通期	1,140,000	1.2	29,000	12.1	30,000	3.0	16,500	△0.9	224.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、[添付資料]5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	76,341,700 株	25年3月期	76,341,700 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	2,685,931 株	25年3月期	2,683,368 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	73,656,548 株	25年3月期1Q	73,665,930 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算短信補足説明資料の入手方法について)

四半期決算短信補足説明資料は、決算短信に添付しTDnetで開示しております。また、当社ホームページにも同日掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円 銭)
当第1四半期 連結累計期間	274,656	9,389	11,154	6,532	88.68
前第1四半期 連結累計期間	274,409	6,423	6,937	1,906	25.89
対前年同期 増減率(%)	0.1	46.2	60.8	242.6	—

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、円安や株価上昇が進み、企業収益の回復傾向や一部の高額商品に販売増の動きなどが見られました。一方、食料品を含む日用品の消費動向については原材料高や円安による影響などが懸念され、依然として厳しく、先行きも不透明な状況にあります。

こうした環境下、当社グループは、2012-2014年度グループ中期経営計画『TAKE OFF 14』の中間年度を迎え、前年度に引き続き、重点テーマである“収益性向上と飛躍に向けた戦略投資”に基づく「既存事業の強化・拡大」「成長事業の育成」「収益性の向上」に取り組んでおります。

食品セグメントにおいては、本年4月、収益基盤強化を目的とする構造改革を実施、乳製品、菓子、健康栄養の各事業がそれぞれ収益力を高めるべく、コスト削減をはじめ積極的に取り組みを進めています。また医薬品セグメントでは、医療用医薬品を中心とする普及強化とローコストオペレーションに努める一方、将来に向けた研究開発を推進しています。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は 2,746億56百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は 93億89百万円（同46.2%増）、経常利益は 111億54百万円（同60.8%増）、四半期純利益は 65億32百万円（同242.6%増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりです。

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	連結 損益計算書 計上額
	食品	医薬品	計		
売上高	246,210	28,798	275,008	△352	274,656
営業利益	7,628	1,593	9,222	166	9,389

①食品セグメント（株式会社 明治の事業に相当）

	前連結会計年度 (百万円)	当連結会計年度 (百万円)	対前期 増減率(%)
売上高	245,358	246,210	0.3
営業利益	3,435	7,628	122.1

売上高は、乳製品事業ならびに健康栄養事業は前年同期を上回り、菓子事業は前年同期を下回った結果、全体では前年同期並みとなりました。

営業利益は、乳製品事業、菓子事業、健康栄養事業とも徹底したコスト削減などにより増益となり、全体では前年同期を大幅に上回りました。

事業別の売り上げ概況は次のとおりです。

■**乳製品事業**（【市乳】ヨーグルト、牛乳類、飲料等 【加工食品】チーズ、バター、冷凍食品、業務用食品等）

市乳はプロバイオティクスの売り上げが拡大し前年同期を上回りましたが、加工食品は前年同期を下回り、事業全体では前年同期を上回りました。

【市乳】

- ・ヨーグルトは前年同期を上回りました。「明治ブルガリアヨーグルト」は前年同期を下回ったものの、「明治ヨーグルトR-1」は引き続き大きく伸長し、「明治プロビオヨーグルトLG21」も含めプロバイオティクスが好調を持続しました。
- ・牛乳類は前年同期を下回りましたが、「明治おいしい牛乳」は積極的なマーケティング活動などが奏功し、順調に売り上げを伸ばしました。

【加工食品】

- ・チーズは、主力の「明治北海道十勝」シリーズが競争激化の影響により前年同期を下回り、全体として前年同期を下回りました。
- ・マーガリン類は、市場の低迷により前年同期を下回りました。

■**菓子事業**（【菓子】チョコレート、ガム、キャンディー等 【アイスクリーム】アイスクリーム等）

菓子は一部商品の提携解消の影響もあり前年同期を下回り、アイスクリームも前年同期を下回った結果、事業全体では前年同期を下回りました。

【菓子】

- ・チョコレートは前年同期を上回りました。「きのこの山」「たけのこの里」が大きく伸長し、「明治ミルクチョコレート」も堅調に推移しました。
- ・ガムは市場も低迷する中、前年同期を大幅に下回りました。グミは新フレーバーの投入により順調に売り上げを伸ばしました。

【アイスクリーム】

- ・アイスクリームは、前年同期を下回りました。主力の「明治エッセルスーパーカップ」が売り上げを拡大、「明治チョコアイス」シリーズも売り上げに寄与しましたが、その他のアイスクリームが苦戦しました。

■**健康栄養事業**（スポーツ栄養、健康機能、OTC、粉ミルク、流動食、高齢者食等）

スポーツ栄養食品、健康機能食品、粉ミルク、流動食などいずれも好調で、事業全体では前年同期を上回りました。

- ・「ザバス」は、ランナー・ジュニアへの普及強化により前年同期を大幅に上回りました。また「アミノコラーゲン」は2013年3月発売の「アミノコラーゲン プロフェック」の寄与もあり、前年同期を大幅に上回りました。
- ・粉ミルクは、前年同期を大幅に上回りました。
- ・流動食は前年同期を上回り、高齢者食は販路の拡大に伴い前年同期を大幅に上回りました。

②医薬品セグメント(Meiji Seika ファルマ株式会社の事業に相当)

	前連結会計年度 (百万円)	当連結会計年度 (百万円)	対前期 増減率(%)
売上高	29,527	28,798	△2.5
営業利益	2,804	1,593	△43.2

売上高は、医療用医薬品事業は堅調に推移したものの、生物産業事業は前年同期を下回り、全体では前年同期を下回りました。

営業利益は、国内の医療用医薬品は増収となったものの、生物産業の減収ならびに研究開発費用の増加などにより、全体では前年同期を下回りました。

■医療用医薬品事業

- ・抗菌薬では、「メイアクト」はほぼ前年同期並み、「オラペネム」は前年同期を上回りました。
- ・抗うつ薬では、「リフレックス」が積極的な普及活動により前年同期を大幅に上回りました。
- ・ジェネリック医薬品は前年同期を大幅に上回りました。カルシウム拮抗薬「アムロジピン錠 明治」が引き続き順調に拡大、アルツハイマー型認知症治療剤「ドネペジル 明治」も大きく伸長しました。さらに2012年6月以降発売した、抗うつ薬「パロキセチン 明治」、アレルギー疾患治療薬「オロパタジン 明治」、統合失調症治療薬「クエチアピン 明治」なども売り上げに寄与しました。

■生物産業事業(農薬・動物薬)

- ・農薬は、主力の「オリゼメート」が前年同期に発生した出荷時期ズレの影響を受けたことにより、全体では前年同期を大幅に下回りました。
- ・動物薬は、水産用薬は前年同期を上回りましたが、家畜用薬、コンパニオンアニマル用薬は前年同期を下回り、全体としては前年同期を大幅に下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

〔資産〕

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は7,941億57百万円となり、前連結会計年度末に比べて86億42百万円増加しました。これは受取手形及び売掛金が63億85百万円減少した一方、棚卸資産が33億92百万円、その他流動資産が30億27百万円、土地が12億33百万円、建設仮勘定が26億29百万円、投資有価証券が22億17百万円増加したことなどによるものです。

〔負債〕

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は4,657億70百万円となり、前連結会計年度末に比べて8億65百万円増加しました。これはコマーシャル・ペーパーが140億円、長期借入金金が34億25百万円増加した一方、未払法人税等が32億73百万円、賞与引当金が40億81百万円、売上割戻引当金が29億12百万円、その他流動負債が64億22百万円減少したことなどによるものです。

〔純資産〕

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,283億86百万円となり、前連結会計年度末に比べて77億77百万円増加しました。これは利益剰余金が40億94百万円、為替換算調整勘定が20億45百万円、その他有価証券評価差額金が7億12百万円、繰延ヘッジ損益が2億47百万円増加したことなどによるものです。

なお、自己資本比率は40.4%（前連結会計年度末は39.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間は営業利益、経常利益、四半期純利益とも想定を上回る進捗となりましたが、現在の厳しい状況を踏まえ、また今後の原材料価格の変動、為替動向ならびに一部商品の値上げによる売り上げへの影響などを見極める必要があることから、平成25年5月14日の「平成25年3月期決算短信」で公表しました連結業績予想数値〔第2四半期（累計）、通期〕は修正しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間より、関東製酪㈱および群馬牛乳協業組合は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

㈱明治の連結子会社であったフレッシュネットワークシステムズ㈱は、同社を存続会社とし、北海道明販㈱、東北明販㈱、東京明販㈱、東京明治フーズ㈱、中部明販㈱、近畿明販㈱、中国明販㈱、九州明乳販売㈱を吸収合併し、明治フレッシュネットワーク㈱に商号変更しております。このため、北海道明販㈱、東北明販㈱、東京明販㈱、東京明治フーズ㈱、中部明販㈱、近畿明販㈱、中国明販㈱、九州明乳販売㈱は、消滅会社となり、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

また、㈱明治の連結子会社であった金沢明販㈱は、会社分割によりフレッシュネットワークシステムズ㈱にチルド卸事業を分割し、㈱スリーエスアンドエルに商号変更しております。

(持分法適用の範囲の重要な変更)

Meiji Seika ファルマ㈱の持分法適用関連会社であった明治サノフィ・アベンティス薬品㈱は清算終了したため、持分法適用の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,902	17,344
受取手形及び売掛金	175,803	169,417
商品及び製品	81,339	82,353
仕掛品	2,229	3,353
原材料及び貯蔵品	37,624	38,879
その他	27,562	30,589
貸倒引当金	△251	△276
流動資産合計	341,211	341,661
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	275,303	278,069
減価償却累計額	△153,717	△156,002
建物及び構築物(純額)	121,585	122,066
機械装置及び運搬具	436,863	441,124
減価償却累計額	△333,873	△338,316
機械装置及び運搬具(純額)	102,990	102,807
工具、器具及び備品	56,830	55,860
減価償却累計額	△47,582	△46,679
工具、器具及び備品(純額)	9,248	9,180
土地	68,655	69,889
リース資産	7,776	7,967
減価償却累計額	△3,630	△3,920
リース資産(純額)	4,145	4,047
建設仮勘定	5,499	8,128
有形固定資産合計	312,124	316,120
無形固定資産		
のれん	161	138
その他	7,585	7,576
無形固定資産合計	7,746	7,714
投資その他の資産		
投資有価証券	53,931	56,148
その他	70,953	72,983
貸倒引当金	△453	△471
投資その他の資産合計	124,431	128,660
固定資産合計	444,302	452,495
資産合計	785,514	794,157

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	109,460	107,231
短期借入金	42,108	42,374
1年内償還予定の社債	15,000	15,000
コマーシャル・ペーパー	40,000	54,000
未払法人税等	7,868	4,595
賞与引当金	9,242	5,160
返品調整引当金	228	230
売上割戻引当金	5,263	2,351
その他	80,592	74,170
流動負債合計	309,764	305,114
固定負債		
社債	85,000	85,000
長期借入金	23,285	26,710
退職給付引当金	22,338	24,150
役員退職慰労引当金	280	233
その他	24,235	24,560
固定負債合計	155,139	160,655
負債合計	464,904	465,770
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	98,851	98,852
利益剰余金	185,436	189,531
自己株式	△9,299	△9,310
株主資本合計	304,989	309,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,557	13,269
繰延ヘッジ損益	△816	△569
為替換算調整勘定	△3,346	△1,301
その他の包括利益累計額合計	8,394	11,398
少数株主持分	7,226	7,915
純資産合計	320,609	328,386
負債純資産合計	785,514	794,157

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	274,409	274,656
売上原価	182,378	180,876
売上総利益	92,030	93,780
販売費及び一般管理費	85,606	84,391
営業利益	6,423	9,389
営業外収益		
受取利息	14	14
受取配当金	506	518
不動産賃貸料	616	536
受取補償金	—	750
為替差益	59	306
持分法による投資利益	—	244
その他	493	365
営業外収益合計	1,690	2,736
営業外費用		
支払利息	446	323
不動産賃貸原価	469	454
持分法による投資損失	16	—
その他	244	192
営業外費用合計	1,176	971
経常利益	6,937	11,154
特別利益		
固定資産売却益	26	41
投資有価証券売却益	67	469
企業立地促進補助金	50	—
その他	38	32
特別利益合計	183	543
特別損失		
固定資産廃棄損	754	511
投資有価証券評価損	1,125	5
その他	69	40
特別損失合計	1,949	557
税金等調整前四半期純利益	5,171	11,140
法人税等	3,242	4,531
少数株主損益調整前四半期純利益	1,928	6,608
少数株主利益	21	76
四半期純利益	1,906	6,532

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,928	6,608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	414	725
繰延ヘッジ損益	△292	247
為替換算調整勘定	1,186	2,002
持分法適用会社に対する持分相当額	71	174
その他の包括利益合計	1,379	3,149
四半期包括利益	3,308	9,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,170	9,537
少数株主に係る四半期包括利益	138	221

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	食品	医薬品			
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	245,095	29,313	274,409	—	274,409
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	262	214	477	△477	—
計	245,358	29,527	274,886	△477	274,409
セグメント利益	3,435	2,804	6,240	183	6,423

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額183百万円には、セグメント間取引消去60百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用123百万円が含まれております。全社費用は当社(持株会社)運営に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

のれんの金額の重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれんの発生はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	食品	医薬品			
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	245,954	28,701	274,656	—	274,656
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	255	96	352	△352	—
計	246,210	28,798	275,008	△352	274,656
セグメント利益	7,628	1,593	9,222	166	9,389

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額166百万円には、セグメント間取引消去51百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用115百万円が含まれております。全社費用は当社（持株会社）運営に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

のれんの金額の重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれんの発生はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成25年7月16日開催の取締役会において、国内無担保普通社債の発行について以下のとおり包括決議を行いました。

- (1) 発行総額 300億円以下
但し、この範囲内で複数回の発行を妨げない。
- (2) 発行予定期間 平成25年7月から平成26年3月まで
但し、本期間中に募集がなされた場合は払込期日が本期間後であっても含まれるものとする。
- (3) 発行価額 各社債の金額100円につき金100円
- (4) 利率 社債と同年限のスワップレート+0.5%以下
- (5) 償還期限 7年以内
- (6) 償還方法 満期一括償還
- (7) 資金使途 運転資金、設備資金、投融資資金、借入金返済資金、社債償還資金、
コマーシャル・ペーパー償還資金
- (8) 特約条項 本社債について「担保提供制限条項」を付すものとする。
- (9) その他 会社法676条各号に掲げる事項及びその他社債発行に必要な一切の事項の
決定は、上記の範囲内で代表取締役社長に一任することとし、決定後、
最初に開催される取締役会で報告するものとする。

平成26年3月期 第1四半期決算短信 補足説明資料

目次

I. 平成26年3月期 連結概況	
1. 経営成績	1
2. セグメント情報	1
3. 計画	2
4. 営業利益 増減分析	3
II. その他	
1. 設備投資額、減価償却費、研究開発費	5
2. 主要経営指標の推移	5
III. 事業会社情報	
1. 株式会社 明治	6
2. Meiji Seika ファルマ 株式会社	7
IV. 平成26年3月期 食品セグメント内の事業の一部区分変更について	
	8

The logo for Meiji, consisting of the word "meiji" in a bold, red, lowercase sans-serif font.

明治ホールディングス株式会社

I. 平成26年3月期 連結概況

(表中の金額は億円未満切捨て)

1. 経営成績

(単位:億円)

	25年3月期		26年3月期			26年3月期(計画)	
	1Q	対前期増減率 %	1Q	対前期増減率 %	対上期計画 進捗率 %	上期	対前期増減率 %
売上高	2,744	+4.9	2,746	+0.1	48.6	5,650	+0.7
売上原価	1,823	+4.4	1,808	△ 0.8	—	—	—
販売費及び一般管理費	856	+5.5	843	△ 1.4	—	—	—
(運賃保管料)	110	△ 1.3	103	△ 6.2	—	—	—
(拡売費・広告宣伝費)	340	+16.8	315	△ 7.4	—	—	—
(労務費)	180	△ 1.6	183	+1.5	—	—	—
営業利益	64	+9.1	93	+46.2	78.2	120	+19.4
経常利益	69	+12.6	111	+60.8	85.8	130	+10.2
四半期(当期)純利益	19	△ 3.4	65	+242.6	100.5	65	+23.4

2. セグメント情報

(1) 売上高

(単位:億円)

	25年3月期		26年3月期			26年3月期(計画)		
	1Q	対前期増減率 %	1Q	対前期増減率 %	対上期計画 進捗率 %	上期	対前期増減率 %	
食品セグメント	2,453	+5.8	2,462	+0.3	48.5	5,073	+0.7	
新 区 分	乳製品	1,546	+16.2	1,589	+2.8	51.5	3,084	△ 0.6
	菓子	444	△ 5.1	428	△ 3.6	44.9	955	△ 1.7
	健康栄養	183	△ 3.6	202	+10.3	48.0	422	+2.9
	その他	782	+1.7	810	+3.6	49.6	1,635	+3.7
	消去	△ 504	—	△ 569	—	—	△ 1,024	—
医薬品セグメント	295	△ 2.5	287	△ 2.5	48.3	596	+2.0	
食品セグメント	2,453	+5.8	—	—	—	—	—	
旧 区 分	乳製品	1,570	+16.3	—	—	—	—	—
	菓子	684	△ 1.7	—	—	—	—	—
	健康栄養	267	△ 3.3	—	—	—	—	—
	その他	436	△ 0.3	—	—	—	—	—
	消去	△ 504	—	—	—	—	—	—
医薬品セグメント	295	△ 2.5	—	—	—	—	—	

(2) 営業利益

(単位:億円)

	25年3月期		26年3月期			26年3月期(計画)		
	1Q	対前期増減率 %	1Q	対前期増減率 %	対上期計画 進捗率 %	上期	対前期増減率 %	
食品セグメント	34	+129.6	76	+122.1	89.0	85	+30.3	
新 区 分	乳製品	53	+738.8	75	+41.6	84.4	89	+8.3
	菓子	△ 4	—	1	—	16.0	6	+108.4
	健康栄養	△ 11	—	3	—	164.9	2	—
	その他	3	△ 24.1	1	△ 44.9	26.1	6	+118.8
	消去および全社費用	△ 6	—	△ 6	—	—	△ 17	—
医薬品セグメント	28	△ 32.2	15	△ 43.2	49.8	32	△ 0.3	
食品セグメント	34	+129.6	—	—	—	—	—	
旧 区 分	乳製品	58	+411.4	—	—	—	—	—
	菓子	△ 2	—	—	—	—	—	—
	健康栄養	△ 13	—	—	—	—	—	—
	その他	0	—	—	—	—	—	—
	消去および全社費用	△ 5	—	—	—	—	—	—
医薬品セグメント	28	△ 32.2	—	—	—	—	—	

(注1) 食品セグメント内の参考情報として、各事業区分の業績(消去前の単純合算数値)を記載しております

(注2) 食品セグメント内の消去は各事業区分内および事業区分間の消去を含みます。また全社費用は各事業に配賦していない費用です

(注3) 平成26年3月期より食品セグメント内の事業の一部区分を変更しております

当期中の開示資料では、当区分を適用した平成25年3月期の実績をご参考として併記しております

3. 計画

変更なし

(1) 連結計画

(単位: 億円)

	25年3月期(実績)						26年3月期(計画)					
	上期	対前期増減率	下期	対前期増減率	通期	対前期増減率	上期	対前期増減率	下期	対前期増減率	通期	対前期増減率
売上高	5,612	+2.4	5,652	+0.7	11,265	+1.6	5,650	+0.7	5,750	+1.7	11,400	+1.2
営業利益	100	+35.5	158	+23.7	258	+28.1	120	+19.4	170	+7.5	290	+12.1
経常利益	117	+36.1	173	+31.2	291	+33.1	130	+10.2	170	△ 1.9	300	+3.0
四半期(当期)純利益	52	+123.2	113	+156.0	166	+144.6	65	+23.4	100	△ 12.1	165	△ 0.9

(2) セグメント計画

1) 売上高

(単位: 億円)

	25年3月期(実績)						26年3月期(計画)					
	上期	対前期増減率	下期	対前期増減率	通期	対前期増減率	上期	対前期増減率	下期	対前期増減率	通期	対前期増減率
食品セグメント	5,039	+2.7	4,976	+0.4	10,015	+1.5	5,073	+0.7	4,999	+0.5	10,072	+0.6
乳製品	3,104	+7.4	3,020	+1.2	6,124	+4.3	3,084	△ 0.6	3,007	△ 0.4	6,091	△ 0.5
菓子	972	+0.1	993	△ 3.6	1,965	△ 1.8	955	△ 1.7	1,000	+0.8	1,956	△ 0.5
健康栄養	410	△ 2.8	384	+0.9	795	△ 1.0	422	+2.9	402	+4.6	825	+3.7
その他	1,576	+0.6	1,619	+3.7	3,195	+2.2	1,635	+3.7	1,616	△ 0.2	3,251	+1.8
消去	△ 1,024	—	△ 1,040	—	△ 2,064	—	△ 1,024	—	△ 1,027	—	△ 2,052	—
医薬品セグメント	584	△ 0.2	689	+3.3	1,273	+1.7	596	+2.0	754	+9.5	1,350	+6.1
食品セグメント	5,039	+2.7	4,976	+0.4	10,015	+1.5	—	—	—	—	—	—
乳製品	3,148	+7.7	3,021	+0.8	6,170	+4.6	—	—	—	—	—	—
菓子	1,445	+1.4	1,478	△ 0.0	2,924	△ 0.4	—	—	—	—	—	—
健康栄養	576	△ 3.3	574	△ 1.3	1,150	△ 2.3	—	—	—	—	—	—
その他	893	△ 1.2	942	+4.8	1,836	+2.1	—	—	—	—	—	—
消去	△ 1,024	—	△ 1,040	—	△ 2,064	—	—	—	—	—	—	—
医薬品セグメント	584	△ 0.2	689	+3.3	1,273	+1.7	—	—	—	—	—	—

2) 営業利益

(単位: 億円)

	25年3月期(実績)						26年3月期(計画)					
	上期	対前期増減率	下期	対前期増減率	通期	対前期増減率	上期	対前期増減率	下期	対前期増減率	通期	対前期増減率
食品セグメント	65	+147.0	128	+45.0	193	+68.7	85	+30.3	129	+1.0	215	+10.9
乳製品	82	+415.9	101	+41.3	184	+109.6	89	+8.3	94	△ 6.8	184	△ 0.0
菓子	3	△ 71.9	30	+4.6	33	△ 16.2	6	+108.4	39	+29.6	45	+36.7
健康栄養	△ 5	—	△ 4	—	△ 9	—	2	—	0	—	3	—
その他	2	△ 79.4	19	+78.9	22	△ 11.7	6	+118.8	12	△ 36.2	18	△ 15.5
消去および全社費用	△ 16	—	△ 15	—	△ 32	—	△ 17	—	△ 15	—	△ 32	—
医薬品セグメント	33	△ 23.4	31	△ 18.4	64	△ 21.1	32	△ 0.3	43	+37.4	76	+18.1
食品セグメント	65	+147.0	128	+45.0	193	+68.7	—	—	—	—	—	—
乳製品	92	+256.7	111	+50.6	203	+104.2	—	—	—	—	—	—
菓子	6	△ 50.7	39	+3.2	46	△ 10.9	—	—	—	—	—	—
健康栄養	△ 10	—	△ 10	—	△ 21	—	—	—	—	—	—	—
その他	△ 2	—	9	+455.7	7	△ 6.9	—	—	—	—	—	—
消去および全社費用	△ 20	—	△ 18	—	△ 37	—	—	—	—	—	—	—
医薬品セグメント	33	△ 23.4	31	△ 18.4	64	△ 21.1	—	—	—	—	—	—

(注1) 食品セグメント内の参考情報として、各事業区分の業績(消去前の単純合算数値)を記載しております

(注2) 食品セグメント内の消去は各事業区分内および事業区分間の消去を含みます。また全社費用は各事業に配賦していない費用です

(注3) 平成26年3月期より食品セグメント内の事業の一部区分を変更しております

当期中の開示資料では、当区分を適用した平成25年3月期の実績をご参考として併記しております

4. 営業利益 増減分析

(1) 1Q実績

(単位: 億円)

	セグメント内訳		
	食品	医薬品	他
25/3期 1Q	34	28	2
売上増減	+20	△3	—
コスト低減	+17	△3	—
販売間接費の増減	+13	△3	—
子会社の業績	+4	+1	—
原材料調達コスト	△10	+3	—
その他	△3	△7	△0
26/3期 1Q	76	15	2

※1: 主な内訳 … 【食品】乳製品生産効率化+6 健康栄養コスト減+4 菓子生産効率化+3 菓子物流コスト減+2

※2: 主な内訳 … 【薬品】研究開発費増△4 一般管理費増△3

(2) 計画

変更なし

<< 上期 >>

(単位: 億円)

	連結合計	食品 セグメント	医薬品 セグメント	他
25年3月期 (実績)	100	65	33	2
売上増減	+22	+13	+9	—
コスト低減	+36	+29	+7	—
原材料調達コスト	△ 22	△ 22	0	—
販売間接費の増減	△ 16	+2	△ 18	—
その他	+3	0	+2	+1
子会社の業績	△ 1	△ 1	0	—
増減合計	+20	+20	△0	+1
26年3月期 (計画)	120	85	32	3

<< 下期 >>

(単位: 億円)

	連結合計	食品 セグメント	医薬品 セグメント	他
25年3月期 (実績)	158	128	31	△ 1
売上増減	+63	+35	+28	—
コスト低減	+23	+21	+2	—
原材料調達コスト	△ 33	△ 33	0	—
販売間接費の増減	△ 27	△ 15	△ 12	—
その他	△ 13	+1	△ 13	△ 1
子会社の業績	△ 2	△ 8	+6	—
増減合計	+12	+1	+11	△ 1
26年3月期 (計画)	170	129	43	△ 2

<< 通期 >>

(単位: 億円)

	連結合計	食品 セグメント	医薬品 セグメント	他
25年3月期 (実績)	258	193	64	0
売上増減	+84	+47	+37	—
コスト低減	+59	+50	+9	—
原材料調達コスト	△ 55	△ 55	0	—
販売間接費の増減	△ 43	△ 13	△ 30	—
その他	△ 10	+1	△ 10	△ 1
子会社の業績	△ 3	△ 9	+6	—
増減合計	+32	+21	+12	△ 1
26年3月期 (計画)	290	215	76	△ 1

Ⅱ. その他

1. 設備投資額、減価償却費、研究開発費 変更なし

(単位: 億円)

	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期(計画)	
	通期	通期	通期	上期	通期
設備投資額	405	383	376	299	613
食品セグメント	—	334	331	271	547
医薬品セグメント	—	48	44	28	66
消去又は全社	—	0	0	0	0
減価償却費	413	408	408	196	410
食品セグメント	—	344	342	164	343
医薬品セグメント	—	51	53	27	55
消去又は全社	—	12	12	5	11
研究開発費	234	238	262	113	263
食品セグメント	—	106	111	56	113
医薬品セグメント	—	132	150	57	150
消去又は全社	—	0	0	0	0

(注) 設備投資額および減価償却費は、無形固定資産も含まれた数値です

2. 主要経営指標の推移 変更なし

	23年3月期	24年3月期	25年3月期
	通期	通期	通期
連結売上高	11,110 億円	11,092 億円	11,265 億円
連結営業利益	299 億円	201 億円	258 億円
営業利益率	2.7 %	1.8 %	2.3 %
自己資本当期純利益率	3.3 %	2.3 %	5.5 %
総資産経常利益率	4.2 %	3.0 %	3.8 %
総資産	7,163 億円	7,499 億円	7,855 億円
純資産	2,935 億円	2,984 億円	3,206 億円
営業活動によるキャッシュ・フロー	579 億円	305 億円	506 億円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 324 億円	△ 443 億円	△ 395 億円
フリー・キャッシュ・フロー	255 億円	△ 137 億円	111 億円
1株当たり当期純利益	129.63 円	92.38 円	225.98 円
1株当たり純資産	3,906.36 円	3,958.24 円	4,254.56 円
1株当たり配当金	80.00 円	80.00 円	80.00 円

(注1) フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

(注2) 1株当たり純資産＝(純資産総額－少数株主持分)／(発行済株式数－自己株式数)

Ⅲ. 事業会社情報

1. 株式会社 明治【食品セグメント】

(1) 事業別売上(単体)

(単位:億円)

	25年3月期		26年3月期			
	1Q	対前期増減率	1Q	対前期増減率		
新区分	乳製品事業	1,118	+17.7	1,123	+0.5	
	市乳	758	+26.0	770	+1.7	ヨーグルト、牛乳類、飲料等
	加工食品	360	+3.8	352	△ 2.1	チーズ、バター、冷凍食品、業務用食品等
	菓子事業	383	△ 5.4	364	△ 4.8	
	菓子	276	△ 10.7	260	△ 5.8	チョコレート、ガム、キャンディー等
	アイスクリーム	106	+12.1	104	△ 2.1	市販用アイスクリーム等
	健康栄養事業	165	△ 3.6	179	+8.1	スポーツ栄養、健康機能、OTC、粉ミルク、流動食、高齢者食等
旧区分	乳製品事業	1,020	+19.4	—	—	
	市乳	758	+26.0	—	—	ヨーグルト、牛乳類、飲料等
	乳食品	262	+4.3	—	—	チーズ、バター、業務用乳製品等
	菓子事業	434	△ 3.4	—	—	
	菓子	276	△ 10.9	—	—	チョコレート、ガム、キャンディー等
	デザート	107	+12.5	—	—	市販用アイスクリーム、スイーツ等
	フードクリエイト	50	+14.3	—	—	業務用(製菓・食材)
	健康栄養事業	213	△ 4.9	—	—	
健康	117	△ 8.1	—	—	スポーツ栄養、健康機能、冷凍食品、OTC等	
栄養	111	△ 0.2	—	—	粉ミルク、流動食、高齢者食等	

(注1) 平成26年3月期より食品セグメント内の事業の一部区分を変更しております
 当期中の開示資料では、当区分を適用した平成25年3月期の実績をご参考として併記しております

2. Meiji Seika ファルマ 株式会社【医薬品セグメント】

(1) 事業別売上(連結)

(単位: 億円)

	25年3月期		26年3月期		
	1Q	対前期増減率 %	1Q	対前期増減率 %	
連結売上高	295	△2.5	287	△2.5	
医療用医薬品事業	255	△0.7	262	+2.6	感染症領域、中枢神経系領域、ジェネリック医薬品
生物産業事業	39	△13.0	25	△35.3	農薬、動物薬

(2) 薬品開発品目一覧

ステージ	開発コード(一般名)	剤型	薬効分類	備考
申請	レザフィリン® (タラボルフィン)	注射	悪性脳腫瘍治療薬 (適応拡大)	
Phase III	ME2136 (アセナピン)	経口	統合失調症治療薬	導入元: Merck Sharp&Dohme B.V. (オランダ)
	SME3110 (フルボキサミン)	経口	強迫性障害治療薬 (小児)	共同開発: アッヴィ合同会社
Phase II	ME3113 (ウデナフィル)	経口	前立腺肥大症治療薬	導入元: Dong-A ST 株式会社(韓国)
	リフレックス® (ミルタザピン)	経口	線維筋痛症治療薬 (適応拡大)	導入元: MSD株式会社
	ME2112 (ジプラシドン)	経口	統合失調症治療薬	導入元: ラクオリア創薬株式会社
Phase I	ME2125 (サフィナミド)	経口	パーキンソン病治療薬	導入元: Newron Pharmaceutical社 (イタリア)
Phase I (米国)	ME1111	外用	爪真菌症治療薬	自社開発
	ME1100 (アルベカシン)	吸入	院内感染肺炎/人工呼吸器関連肺炎治療薬	自社開発

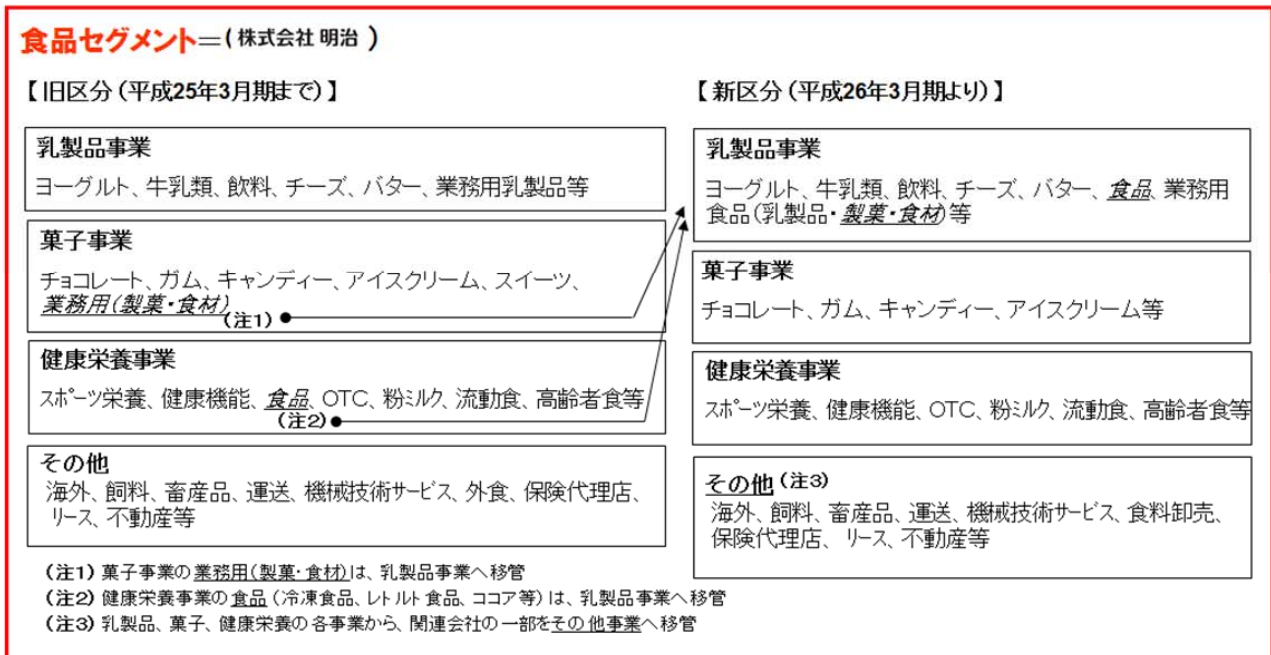
(注) 「SME3110(フルボキサミン)」については平成25年6月12日に、「ME1100(アルベカシン)」については同年7月26日にMeiji Seika ファルマより発表

IV. 平成26年3月期 食品セグメント内の事業の一部区分変更について

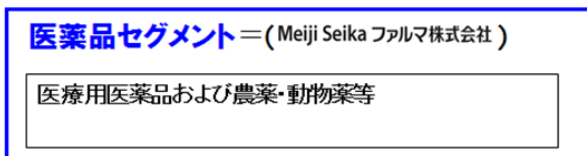
平成25年4月の株式会社 明治の組織変更に伴い、平成26年3月期より食品セグメント内の事業の一部区分を下図のように変更しております。

これに伴い、平成26年3月期以降の計画および実績の数値は、当区分で開示しております。また、平成26年3月期中の開示資料では、当区分を適用した平成25年3月期実績をご参考として併記しております。

なお、医薬品セグメントは変更していません。



(変更なし)



※ 当資料では、平成25年3月期までの事業区分を「旧区分」、平成26年3月期からの事業区分を「新区分」として表記しております。